

\* 稲の生育概況一覧表

品 種	調査日	6月18日				6月28日				7月9日			
	項目	草丈 cm	1m <sup>2</sup> 茎数	葉 齢	葉 色	草丈 cm	1m <sup>2</sup> 茎数	葉 齢	葉 色	草丈 cm	1m <sup>2</sup> 茎数	葉 齢	葉 色
サ サ ニ シ キ	令和3年	40.0	390.2	8.1	40.2	52.2	464.7	9.4	38.8				
	2年	40.9	484.5	7.9	40.6	52.5	603.1	9.1	39.5	65.8	571.8	10.3	38.0
	平 年	39.6	452.0	8.2	40.7	49.6	606.1	9.6	39.8	60.9	607.4	10.6	37.6
ひ と め ぼ れ	令和3年	41.0	447.0	8.3	41.6	54.2	559.3	9.5	39.6				
	2年	41.8	478.5	7.9	40.7	51.9	559.3	9.2	41.3	62.7	550.5	10.3	39.8
	平 年	38.6	403.7	8.1	42.0	48.0	528.3	9.5	42.2	58.5	548.4	10.5	40.0

※ササニシキ、ひとめぼれは本組合の生育調査圃場の平均値です。

※平年は本組合の生育調査圃場の平成28年から令和2年の過去5ヶ年の平均値です。

3. 今後の技術対策

6月28日の調査結果にある通り、ひとめぼれの調査圃場では目標茎数が確保され、ササニシキでは一部確保できない圃場もあります。晩期栽培や直播栽培を行っている圃場についても管理状況によって生育にばらつきが見られますので、圃場ごとの生育量を確認し、追肥や低温時深水などきめ細かな肥培管理を徹底して下さい。

1) 中干し終了とその後の水管理

中干しについては通常土壌表面に軽くヒビ割れが入り歩くと足跡がつく程度まで行い、**幼穂形成期(出穂25日前)**までには終了します。

また、中干し終了後は、急に湛水状態に戻しますと根に障害を与えますので、中干し直後については走り水程度で入水し、徐々に湛水状態としその後は間断灌水とします。

○大豆あと復元田(子実大豆をすきこんだ圃場)

大豆あと復元田等では気温の上昇で地力窒素の発現量が増加し、急激に茎数が増加する傾向にありますので、飽水管理で倒伏防止に努めて下さい。また、過繁茂圃場についても飽水管理を行って下さい。

※飽水管理とは田面についた足跡に若干の水が残る程度で土壌水分を管理することです。入水し土が十分に湿ったら落水し、乾いたら入水を繰り返す方法です。これを行うことで根の健全化と節間伸長を抑制し耐倒伏性を高めることができます。

2) 追肥について

ここ数年の特徴としては、幼穂形成期以降の葉色低下が著しい圃場が多く見受けられ、本年も同様に肥効が早めに消失し今後は葉色低下が進むことが予想されます。極端な葉色低下は玄米品質の低下を招きますので必要に応じて追肥を行って葉色維持に努めて下さい。

○幼穂形成期の追肥

幼穂形成期の追肥は1穂粒数の増加に効果的な反面、下位節間が伸長し倒伏の危険性が高まります。このため、ササニシキはこの時期に追肥は行いません。

1. 生育の概要

【6月28日の生育調査の結果】(平年比)

- ◎草 丈 : ササニシキは2.6cm長く、ひとめぼれは6.2cm長い。
- ◎m<sup>2</sup>茎数 : ササニシキは141.4本少なく、ひとめぼれは31.0本多い。
- ◎葉 齢 : ササニシキは0.2枚少なく、ひとめぼれは平年並み。
- ◎葉 色 : ササニシキは1.0低く、ひとめぼれは2.6低い。

今回の生育調査結果から、草丈はササニシキ・ひとめぼれともに平年より長めとなっています。1m<sup>2</sup>茎数につきましてはササニシキで平年を下回っている状況です(平年比:ササニシキ76.7%、ひとめぼれ103.9%)。

6月18日から27日にかけて、晴天の日が多く高温多照が続き分げつが促進され、ひとめぼれの調査圃場はほぼ目標茎数に達していますが、ササニシキの調査圃場では目標茎数を確保していない圃場が一部見られました。圃場を見極めて目標茎数に達し次第中干しを行って下さい。

葉色は平年と比較しササニシキで1.0低く、ひとめぼれで2.6低くなっており、気温が高めに推移して基肥窒素の消失が早いと思われるので、**葉色が低くなる傾向の圃場につきましては追肥の検討をお願いします。**下記「追肥の目安」を参照のうえ、適期に追肥を行いましょ。

2. 今後の気象情報 (7月2日仙台管区气象台発表)

平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。向こう1か月の平均気温は、平年並み又は高い確率40%です。降水量は平年並又は多い確率ともに40%です。日照時間は、少ない確率40%です。

○減数分裂期の追肥

穂数増加もややプラスになり、登熟にも良い影響を与え、この時期の追肥は倒伏、登熟不良等の弊害の最も少ない時期です。

●追肥の目安

品 種	施 肥 時 期	グリーンメーター値	施肥チツソ量(10a)
ひとめぼれ	出穂25日~20日前	37以下	1.0kg以内
	出穂15日~12日前	35以下	1.0kg以内
ササニシキ	出穂15日~12日前	32以下	1.0kg以内
まなむすめ	出穂25日~20日前	35以下	2.0kg以内
つ や 姫	出穂25日~20日前	35以下	2.0kg以内
だて正夢	出穂25日~20日前	39以下	1.0kg以内
	出穂15日~12日前	35以下	1.0~2.0kg以内
金のいぶき	出穂25日~20日前	33以下	1.0kg以内
	出穂15日~12日前	30以下	1.0kg以内

\*環境保全米では化学合成チツソの施肥量の合計が、10a当たり3.5kg以内となっております。追肥の施用量については生産者ごとに違いがありますので、基準量以内での使用をお願いします。

\*水口から流し込む「KSK28」があります。ケイ酸を施すと、根張りが良くなるほか、倒伏軽減や収量・食味向上にも繋がります。

3) カメムシ類の防除

出穂直前の畦畔の草刈りは本田へカメムシを侵入させてしまいます。環境保全米のカメムシの薬剤防除は1回に限られておりますので、発生密度を減らすためにも農道や畦畔の草刈りを徹底して下さい。

4) 紋枯病について

県内では6月下旬から7月上旬に初発生が見られ、7月下旬以降発生が増加します。7月下旬の発生には6月の気温との相関関係があります。今年の6月は日平均気温19.7℃と高温で推移したことから、7月下旬の発病株率は10%程度が想定されています。防除の際はバリダシン(環境保全米・S基準)が使用できます。

畦畔などの草刈りは出穂10日前厳守!

## 水田センサーMIHARAS／ミハラスについて

令和3年7月7日 いしのまき農業協同組合

### 環境保全米・直播栽培情報4号

#### 1. 環境保全米の生育概況一覧表

品 種	調査日	6月18日				6月28日			
		項目	草丈 cm	m <sup>2</sup> 茎数	葉齢	葉色	草丈 cm	m <sup>2</sup> 茎数	葉齢
ササニシキ (環境保全米)	令和3年	35.1	357.5	7.8	39.2	46.4	554.9	9.2	39.0
	2年	37.7	417.5	7.9	41.2	49.4	589.2	9.4	41.3
	平 年	35.8	376.4	8.1	41.2	47.1	557.2	9.5	41.3
ひとめぼれ (環境保全米)	令和3年	36.6	361.0	7.8	40.5	47.7	485.1	9.1	40.6
	2年	36.4	389.3	7.9	40.8	47.2	501.4	9.2	42.1
	平 年	36.5	383.8	8.1	42.3	47.4	530.2	9.5	42.3

※ササニシキ、ひとめぼれは本組合の環境保全米生育調査圃場の平均値です。

※平年は本組合の環境保全米生育調査圃場の平成28年から令和2年の平均値です。

＜生育概要：平年比＞

- ◎草 丈：ササニシキ・・・0.4cm短い。ひとめぼれ・・・0.3cm長い。
- ◎m<sup>2</sup> 茎数：ササニシキ・・・2.3本少ない。ひとめぼれ・・・45.1本少ない。
- ◎葉 齢：ササニシキ・・・0.3枚少ない。ひとめぼれ・・・0.4枚少ない。
- ◎葉 色：ササニシキ・・・2.3低い。ひとめぼれ・・・0.4低い。

6月28日の生育調査の葉齢から判断しますと、生育量は平年より1日～2日程度遅れています。1m<sup>2</sup>茎数は、ササニシキで平年比99.5%、ひとめぼれで平年比91.4%となり、日照時間が多かったことにより順調に推移しております。葉色については、平年よりも低くなっており、今後生育が進むにつれて低下していきますので、葉色を十分に観察し必要に応じて追肥を行ってください。

**※環境保全米では化学合成チッソの施肥量の合計が、10a当たり3.5kg以内となっております。追肥の施用量については生産者ごとに違いがありますので、基準量以内での使用をお願いします。**

#### 2. 乾田直播栽培について

品 種	調査日	6月18日				6月28日			
		項目	草丈 (cm)	1m <sup>2</sup> 茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉 齢 (葉)	葉 色	草丈 (cm)	1m <sup>2</sup> 茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉 齢 (葉)
ササニシキ (乾田直播)	令和3年	33.3	310.0	7.0	37.2	41.4	544.7	9.0	38.7
	2年	30.0	540.7	7.0	38.0	42.1	746.0	8.8	37.8
ひとめぼれ (乾田直播)	令和3年	24.6	230.0	5.5		39.6	345.3	7.3	38.0
	2年	22.0	350.0	6.5	46.5	34.3	592.0	7.8	44.6

※上記は、本組合の乾田直播栽培生育調査圃場の平均値です。

直播栽培は、圃場によって茎数のばらつきが大きいため、その圃場の生育状況をよく観察して、追肥を行いましょう。

当 JA では、昨年より農業者向け IT センサー【製品名：MIHARAS／ミハラス】を試験的に導入し、管内の生育調査圃場7カ所において水温、地温、気温等の毎時観測を実施しています。

近年は地球温暖化の影響から気象変動が激しく、稲作栽培管理が難しい状況が続いており、今後は MIHARAS／ミハラスにより測定したデータも活用しながら、きめ細かな肥培管理指導を実施して参ります。

#### 1. 観測地点

石巻蛇田、河北大谷地、河北長面、桃生中津山、桃生高須賀、河南広瀬、鳴瀬牛網の7カ所。

#### 2. 測定結果

下表は、6月21日～6月30日の期間に測定された3時間ごとの観測データを時刻ごとに平均した値を記載しています。

生産者の皆様が、圃場の水温（水温は圃場の水深により変動します）、地温、気温など気象データがどのように推移していたかを把握できるよう、今後も継続的に掲載致します。

#### ●水温

単位：℃

観測時間	石巻 (蛇田)	河北 (大谷地)	河北 (長面)	桃生 (中津山)	桃生 (高須賀)	河南 (広瀬)	東松島 (牛網)
6時	20.3	20.1	19.5	20.2	20.2	19.4	19.0
9時	22.2	21.5	23.2	22.8	22.3	23.7	21.7
12時	25.2	24.5	25.0	26.0	26.0	25.3	25.3
15時	26.6	26.1	24.8	25.5	27.1	24.3	27.0
18時	24.8	24.6	22.0	23.3	24.5	21.5	25.0
21時	22.6	22.5	20.1	21.6	22.4	19.9	21.7
24時	21.4	21.3	19.2	20.7	21.2	19.1	20.3

#### ●地温

単位：℃

観測時間	石巻 (蛇田)	河北 (大谷地)	河北 (長面)	桃生 (中津山)	桃生 (高須賀)	河南 (広瀬)	東松島 (牛網)
6時	21.2	21.0	20.1	20.9	21.9	19.7	20.4
9時	21.6	21.3	21.7	21.7	22.5	21.2	20.8
12時	23.2	22.6	23.6	23.7	24.4	23.6	22.6
15時	24.5	24.0	24.4	24.7	26.1	24.4	24.4
18時	24.4	24.1	23.5	24.0	25.6	23.1	24.5
21時	23.3	23.1	21.9	22.7	24.2	21.5	22.9
24時	22.4	22.3	20.9	21.8	23.2	20.6	21.7

#### ●気温

単位：℃

観測時間	石巻 (蛇田)	河北 (大谷地)	河北 (長面)	桃生 (中津山)	桃生 (高須賀)	河南 (広瀬)	東松島 (牛網)
6時	19.4	19.4	19.1	19.7	19.1	19.3	18.0
9時	22.1	22.0	21.2	22.1	22.0	22.8	21.1
12時	22.8	22.7	21.9	22.7	23.2	23.2	22.4
15時	23.2	22.7	22.0	22.5	22.9	22.9	22.6
18時	21.3	21.0	21.0	20.9	21.2	20.9	21.4
21時	19.9	19.7	19.0	19.6	19.4	19.2	19.6
24時	18.9	18.7	18.3	19.0	18.4	18.3	18.7